

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

## 事業名【新】岐阜県が誇るスポーツ施設活用促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 スポーツ交流係 電話番号：058-272-1111(内2618)

E-mail : c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,000千円 (前年度予算額： 0千円)

### ＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	17,000	0	0	0	0	0	0	0	17,000
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- これまで、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアを核として、トップアスリートの合宿を誘致し、認知度向上と利用者数増加に一定の効果がみられた。
- 一方、誘致効果が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアに偏っている点や、来県したアスリートが自然、文化、食などの岐阜県の魅力に触れる機会や岐阜県民との交流の機会が少ないことが課題としてあげられる。
- トップアスリートが岐阜県内で行う合宿を広く支援することで、県内各地のスポーツ施設の全国的な認知度向上を通じた交流人口の拡大を目指す。
- また、合宿の際はトレーニングに終始することなく、県内で地域と交流していく機会を創出し、県内のスポーツの活性化を図る。

#### (2) 事業内容

補助対象者が実施するスポーツ合宿の宿泊費の一部を補助する。

○補助対象者：国内外代表チーム、トップアスリートが所属する強豪チーム

○補助上限：大会成績等に応じて20万円から50万円

県民との交流事業協力団体に最大40万円を加算

### (3) 県負担・補助率の考え方

定額

「清流の国スポーツ推進計画」に基づき、県内でトレーニング合宿を行うために必要な経費として、宿泊費の一部を県が負担するのは妥当である。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	17,000	宿泊費及び施設利用料、交流事業
合計	17,000	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

清流の国スポーツ推進計画

第3章 施策の展開 5 スポーツによる地域振興

# 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## (事業内容)

補助事業名	岐阜県が誇るスポーツ施設活用促進事業費補助金
補助事業者（団体）	スポーツ団体 (理由) ツップアスリートにトレーニングをしていただきながら、県内スポーツ施設の利用促進、交流人口拡大を図る。
補助事業の概要	(目的) ツップアスリートにトレーニングをしていただきながら、県内スポーツ施設の利用促進、交流人口拡大を図る。 (内容) 下記団体が実施するスポーツ合宿の宿泊費の一部を補助する。 補助対象：全国的な大会での入賞実績がある団体の県内合宿にかかる宿泊費 県民との交流事業協力団体に補助金加算
補助率・補助単価等	定額 (内容) 下記に定める条件を満たした団体に交付。 ○県内でスポーツ合宿を行う団体 ○過去3年度以内に全国大会等の入賞実績を2つ以上持つチーム ○国際大会出場実績または出場予定を持つ選手が所属するチーム (理由) ツップアスリートにトレーニングをしていただきながら、県内スポーツ施設の利用促進、交流人口拡大を図る。
補助効果	ツップアスリートにトレーニングをしていただきながら、県内スポーツ施設の利用促進、交流人口拡大を図る。
終期の設定	終期令和10年度 (理由) 3カ年程度事業継続する。

## (事業目標)

### ・終期までに何をどのような状態にしたいのか

ツップアスリートにトレーニングをしていただきながら、県内スポーツ施設の利用促進、交流人口拡大を図る。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①高トレエリア利用 者数	—	—	—	30,000人	30,000人	—
②補助金を活用して県内スポーツ施 設を利用した団体の数	—	—	—	42	42	—

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	斜線	斜線	斜線

## (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標① 目標：30,000人 実績： 達成率： ②
令和5年度	指標① 目標：30,000人 実績： 達成率： ②
令和6年度	指標① 目標：30,000人 実績： 達成率： ②

## (事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
------	--

- 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）  
2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）  
1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）  
0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価)	
------	--

- 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

## (今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

トップアスリートの合宿誘致効果を全県に広げるとともに、来県したアスリートが県民との交流機会を創出する必要がある。

## (次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

トップアスリートが岐阜県内で行う合宿を広く支援し、県内各地のスポーツ施設の全国的な認知度向上を通じた交流人口の拡大を目指す。

合宿の際はトレーニングに終始することなく、県内で地域と交流していただく機会を創出し、県内のスポーツの活性化を図る。